



入江あき子の

県議会報告

- 2015年度予算
1兆7095億7700万円
「人よりもコンクリート重視」
予算委員会で県の姿勢を追及!
- 県議4年間で実現したこと
●引き続き取り組みます!

2015年度予算

1兆7095億7700万円

「人よりもコンクリート重視」 予算委員会で 県の姿勢を追及!

過去最大規模となった新年度予算は、「人よりもコンクリート」重視。3月2日から開かれた予算委員会では、委員として不要不急の大型土木事業の見直し、医療や福祉、教育予算などの充実を訴えました。

私立高校 学費負担の軽減を!

重い私学負担

千葉県の公立高校の授業料は年間約12万円。これに対し、私立高校の学費(授業料+学校納付金)は約55万円で、保護者負担が重くなっています(左図参照)。国は、26年度から国公立すべての高校授業料無償化を一部廃止。年収910万円以上の世帯の授業料は全額自己負担としました。

私立については、所得に応じた授業料を軽減する新たな「就

学支援金制度」を、今年度の1年生から段階的にスタートしています。

一方、千葉県には国の「就学支援金制度」に先駆けて「授業料減免制度」があり、現在は国と県の制度を利用することで授業料が軽減されています。例えば、年収350万円未満の場合、国と県からの公費(■部分)で授業料分をほぼカバーしています。それ以外の約25万円は自己負担です。但し、生活保護・非課税世帯については、今年度に国が創設した「奨学給付制度」により、最大で13万8千円(■部分)が支給されています。

国の加算分は県の懐に

県内私立高校に通わせる家庭の約6割は、年収910万円未満。その大半は新たな制度が始まって、実質的な負担軽減はありません。

一方、他県では国の制度変更を機に県も上乗せするなど、独自の制度を拡充しています。例



3/2 本会議での予算質疑

例えば、埼玉県では350万円世帯に対し、10万円の学費軽減を実施。長野県では予算額を増額し、学費減免の対象を2・3年生にも広げて拡充しています。

昨年からは、制度変更による国の加算分を保護者負担の軽減につなげるよう、千葉県を含む16道県に求めています。ところが千葉県は、国からの加算分を従来から行っていた県の授業料減免の予算に充て、県の持ち出し分を減らしたのです。

子育て世帯を応援して!

予算委員会では、入手したデータに基づき、千葉県が国からの加算分を保護者負担の軽減

佐倉市内の橋は大丈夫?

健全度区分	名称	対応状況
E(緊急対応)	飯塚橋(飯塚)	26年度完成
C(早期対応)	鹿島橋(鹿島)	未着手
	浜田橋(白井田)	未着手
B(要対応)	宮前橋(上勝田)	未着手
	羽鳥橋(羽鳥)	未着手



佐倉の東西を結ぶ鹿島橋 腐食が激しい

老朽化した道路や橋 優先すべきは県民の安全

新年度予算では、高規格道路ネットワーク(外環道、圏央道、北千葉道路など)に約504億円。一方、一般道路や橋の補修・修繕、排水機場や流域下水道等の施設の長寿命化には、総額145億円しか付けられていません。

暮らし最優先の土木事業を

大幅に遅れている修繕計画

千葉県の「橋りよつ」の長寿命化については、対策が必要な458橋のうち今年度までに105橋が完了予定。新年度は50橋を修繕するために24億円の予算が計上されています。

しかし、緊急の対策が必要なEランクは、24年度に完了の予定にもかかわらず、68橋のうち8橋が未着手。早急な対策が必要

に使っていないことを厳しく指摘しました。これに対し、県は「先行して行ってきた県の授業料減免に国の制度が近づいてきたのであり、学校法人への経常費補助も拡充している」と反論。

新年度において、保護者負担を軽減するために「授業料減免制

予算委員会では、「不要不急の高規格道路にばかり優先的に多額の予算を投入するのではなく、県民生活に密着した施設の老朽化・耐震化対策に、より重点的に予算配分するよう」求めました。また、新たな道路建設は将来世代に借金をつけ残すことになり、慎重になるべきです。

限られた財源は、県民の安全・安心に直結する既存インフラ整備にこそ優先して使うよう、今後とも求めっていきます。

度の拡充「や」授業料以外の学費全体への支援」を求めましたが、消極的な姿勢でした。公立・私立を問わず、子どもたちが経済的な不安なく学べるよう、今後とも私立高校の学費負担の軽減に粘り強く取り組んでいきます。

県議4年間で実現したこと

地域医療の核となる「総合診療専門医」の養成・確保

地域医療の先進地を視察し、診療科の枠を超えてトータルに患者を診る「総合診療専門医」の重要性を確信しました。千葉県でも増やすよう提案し、一昨年から予算化。2014年度は県内5病院で60名のドクターが研修中です。



諏訪中央病院を視察

佐久総合病院の色平哲郎医師と

自然エネルギー推進への支援

県独自の自然エネルギー政策を積極的に進めるよう訴えてきた結果、市町村や民間が行う地域分散型・新エネルギー推進事業への支援がスタートしました。



飯田市 おひさま発電所にて

南房総市バイオマスを視察

児童相談所の環境改善 児童養護施設の拡充

昨年度の千葉県の虐待件数は5374件で、3年前の2倍に増加。児童相談所の一時保護所は常に満所状態、20カ所ある児童養護施設もパンク寸前です。各地の施設を訪ねて実態調査し、県に改善を訴えた結果、児童相談所における専門職の増員、民間児童養護施設2カ所の新設を後押しすることができました。



県内5カ所の児童相談所を視察

千葉県乳児院の前で

DV被害者支援策の充実

DV防止・被害者支援に取り組む学者や弁護士、医療関係者と連携して当事者の声を県に届けてきました。その結果、被害者の自立支援に向けた就労支援事業の拡充、一時保護所で生活する子どものための教員配置を実現することができました。

県立学校の環境改善

校舎からの転落事故が過去10年間で14件発生(そのうち3名死亡)したことを明らかにし、防止策の徹底を求めた結果、転落事故ゼロを実現。また、化学物質による健康被害から子どもを守るため、学校現場での農薬・薬剤の使用状況についての調査を毎年実施。市民団体と連携し、使用量を格段に減らすことができました。

いのちと暮らしを守る県政へ 引き続き取り組みます!

佐倉の地下水を守る

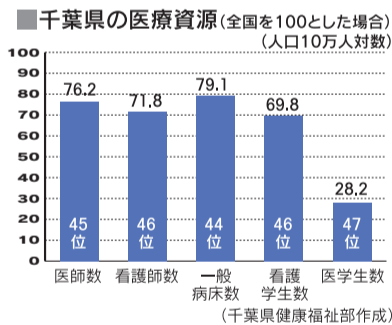
- 安全でおいしい地下水を飲み続けるために、県環境保全条例の見直し、地下水の適正利用と保全を求めます。
- 人口減少・水余りの今、ハッ場ダムなど新たな水源開発から撤退します。



ハッ場ダム本体工事着工に抗議

医療・介護・福祉の連携のしくみづくり

- 住み慣れた地域で暮らし続けるために、「地域包括ケアシステム」を進めます。
- 医師・看護師・介護士不足の解消に力を入れます。



柏地域医療連携センターを視察

限られた財源は防災・老朽化対策へ

- 圏央道、北千葉道路などの高規格道路ネットワークではなく、身近な県道や橋の改修・耐震化に予算を重点配分します。
- ゲリラ豪雨による都市型水害への対策を進めます。



利根川堤防現地で関東地方整備局から説明を受ける

持続可能な社会に

- 環境保全型農業を広げ、印旛沼の浄化や流域の水循環健全化を進めます。
- エネルギーの地産地消を推進し、原発の完全中止を求めます。



冬期湛水・不耕起移植栽培(耕さない田んぼ)小竹での稲刈り

希望ある未来に

- 子どもの貧困・教育格差の解消に取り組みます。
- 集団的自衛権行使に反対し、平和憲法を守り暮らしに活かします。
- 安心して働ける雇用の場を増やし、地域経済を活性化させます。



自治体議員立憲ネットワーク・千葉県の緊急記者会見

Akiko's PROFILE

入江あき子 プロフィール

- 1965年 仙台市生まれ
- 1988年 国際基督教大学(ICU) 教養学部社会科学科卒業
- 2003~2011年 佐倉市議会議員
- 現在
 - 千葉県議会議員1期目 会派:市民ネット・社民・無所属
 - 健康福祉常任委員会委員 / 千葉県環境審議会委員
 - 千葉県議会地震・津波対策議員連盟所属
 - 千葉県議会資源エネルギー問題懇話会所属
 - 原発事故子ども・被災者支援法推進自治体議員連盟所属
 - 自治体議員立憲ネットワーク所属
 - ハッ場ダムを考える1都5県議会議員の会事務局長
 - 利根川流域市民委員会幹事